

令和6年度 第6回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和 6年 12月 10日	
		記載者	川添 真希	
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事・地域活動の実施状況 3. 利用者状況・サービス状況 4. 事故・苦情の状況 5. 連絡事項 6. 地域の現状等情報交換 7. 運営推進委員からの助言・評価			
日時	令和 6年 12月 10日（火）開催			
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 グループホームなごみの郷可部 三入・可部地域包括支援センター 看護小規模多機能ホームやすらぎ	石丸 敏和 廣森 靖司 片山 崇紀 川添 真希 佐々木 卓基 大道 麻衣子		
欠席者 敬称略	広島市民生委員 ご利用者家族代表	藤原 照夫 植田 美鈴		
議事	1. 利用状況 【看護小規模多機能ホームやすらぎ登録者】 23名/29名（登録定員） 要介護1： 3人 要介護2： 2人 要介護3： 0人 要介護4： 8人 要介護5： 9人 区分変更申請中 1人 * 平均介護度： 3.8（前回3.8） * 平均年齢： 83.3歳（49～102歳） （令和 6年11月30日現在） ・新規利用… 10月 9名 ターミナルケア、下肢褥瘡 11月 4名 ターミナルケア、看取り、緩和ケア ・利用終了… 10月 7名 ご逝去 11月 7名 ご逝去・施設入居 （訪問看護のみ利用 在宅看取り2名） 【通いサービス】 利用者実数：23名/23名（令和 6年11月30日現在） 一日平均利用者数（10/1～11/30）：12.9名/日 延べ利用者数（10/1～11/30）： 792名			

【訪問サービス】

看護：14名/23名 延べ訪問件数（10/1～11/30） 1096件
介護：13名/23名 延べ訪問件数（10/1～11/30） 1521件

【泊まりサービス】

利用実人数：12名/23名
平均宿泊者人数（10/1～11/30の平均）：6.8名/日
延べ宿泊者数 396名（10/1～11/30）
長期宿泊者人数 1名（施設入所待ち）

2. 交流・行事等の実施状況

【実施した交流・行事】

- お誕生日のお祝い 10月 男性1名 女性2名、
11月 女性2名
- レクリエーション活動（いも餅作り、フルーツジュース）
- 秋のお散歩、ドライブキャンペーン
- 全体・個別リハビリ
- 職員による歌のリサイタル
- 地域活動：上中地区秋まつり準備、神輿担ぎ、ご利用者参加

3. 事故・苦情の状況等（10/1～11/30）

【インシデント…13件】

内容

- ・入浴予定日であったが、スタッフルームのホワイトボードに明記されておらず、業務日誌をみて気づく
- ・酸素使用者を車椅子に誘導時、酸素カニューレの装着を忘れていた
- ・リクライニング・チルト式車椅子に乗車中のご利用者が、自力で起き上がり立っていた
- ・静養室で休息していたご利用者。普段は介助で起居動作を行う方が、端坐位になっていた
- ・送迎時、自宅から出口まで誘導の際伝い歩きの介助中に、本人の足が滑り体制を崩した
- ・施設へ入居するご利用者へ内服薬の渡し忘れ
- ・配薬セット忘れ
- ・注入後の物品片付け忘れ
- ・自宅用、施設用に車椅子を使い分けているご利用者。自宅から送迎後そのまま自宅用の車椅子に乗車していた
- ・配薬管理のご利用者が、配薬ボックスより自らの内服を取り内服していた
- ・配薬ボックスにご利用者の名前の表記忘れ ・ご利用者の送迎時連絡フ

ファイルを入れ忘れていた

- ・ご利用者の車椅子に、他のご利用者が乗車していた”

【アクシデント：30件】

・転倒転落：15件（レベルⅡ以下） ・服薬関連：3件（レベルⅡ以下）・
皮膚損傷関連：4件（レベルⅢ以上3件）

・ 車椅子からベッドへ移乗した際、本人の左手が脱力し柵と介助者の足の間に挟まった。左手背に0.3×0.5 cm大の創傷あり軽微な処置を要した。

➡ ご家族へ説明しお詫びし了承を得た。移乗方法についてミーティングの際職員内で確認、周知徹底をした

・ 経管栄養胃管挿入中の利用者。体位変換を行った際、管を固定していたテープ付近に出血、皮膚裂創あり。軽微な処置を要した。

➡ご家族へ説明しお詫びし了承を得た。皮膚の保湿、胃管固定用のクリップなど接触しないよう胸元に固定を統一した

・ 移乗時車椅子のフットレストにご利用者の膝があたり創傷あり軽微な処置を要した。

➡ご家族へ説明しお詫びし了承を得た。フットレストカバーの作成、装着及び移乗介助の再確認を行った

4. 地域の現状等情報交換

1) 地域活動について

・今年度より事業所職員全体で、地域活動参加を行っている状況。
上中地区秋のお祭りでは、前日の神輿準備、神輿の担ぎ手、利用者へ神輿の観覧準備など地域活動に一体的に関わることができた。

・小学校の通学路であるため、春くらいに利用者といっしょに見守りに参っていきたい。

・地域のボランティアの受け入れや活動状況について情報を得たい。

2) 情報発信共有

・にのみやグループ第2回まち+とも健幸フェアの開催日が決定した。
(R7年4月27日 日曜日)

・看護小規模多機能ホームやすらぎのパンフレットをリニューアルしました。(配布)

12/16より若年性認知症の女性を受け入れます。安心安全にやすらぎで過ごしていただけるような取り組みを職員内で検討しています。

・R6年度事業所評価については、現在職員内で集計、振り返りを行っている。次回の運営推進委員会開催案内を、R7年1月中旬に発送に合わせて評価内容を同封します。ご確認やご助言等お願いします。

5. 運営推進委員からの助言・評価、連絡事項

【助言等】

・今年のお祭りは、職員の皆様のおかげで例年になく盛り上がりました。準備や片付けまで関わってもらえ、高齢者が多いので若い方の力が助かった。

・町内会では独居の方が増えてきた。脳梗塞で認知症になる方が多く見られ、家族のみならず民生委員、町内会、地域で見守りや関わりが必要になってくる。一見元気そうな方でも「大丈夫ですか？」と、声かけをするのも必要。近所付き合いも希薄。町内で気にはかけていた独居の方で、宅配弁当が2日くらい玄関においてあると近所の方から民生委員に連絡が入り、警察に連絡、レスキュー隊が入り確認すると倒れて動けなくなっている状態だったようだ。結局独居は難しいので施設に入られたようです。家族関係も複雑でなかなか情報も入りにくい。独居の方へは目を増やすためにも、宅配や新聞の人にも何かあれば連絡先を伝えおくこともよい。

・ボランティアについては、安佐北みみの会という傾聴ボランティアがあります。月一回グループホームにも来てもらっているが、誰かと話をする聞いてもらえるのも安心しますね。グループホームでは来てもらうより、最近では地域に出ていくようにした。例えば町内会のラジオ体操の参加など。参加を続けることでやりがいになるようで効果的ですよ。

・若年性認知症の女性への対応として、身に着けるものに名前や事業所名を明記することはよいことと思います。

・亀山地域包括で認知症ケア推進委員がいらっしゃるの、情報共有すると良いかもしれません。

・やすらぎのパンフレットのリニューアルは、具体的な利用例がありわかりやすくなりましたね。活用しながら説明に使いたいと思う。

【長期連泊の承認について】

・施設入所が決定するまでは、連泊を承認する。

【連絡事項】

次回の運営推進会議

令和7年2月18日（火）10：00-11：00

看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上